

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	教育実習事前及び事後の指導（幼稚園）		
担当者(Instructors)	武 寛子, 渡邊 明宏	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

実習事前準備と実習終了後の事後指導として実習経験の省察を行う。それは自己課題を明確にする目的である。事前準備内容は、実習の意義と目的と方法の概要を学ぶ。実習の心構えを身につけ、実習園を研究する。幼児の観察方法、指導案の作成、クラス経営・教師の援助・配慮の方法等を学ぶ。教育実習の事後指導では教育実習の成果を実習の記録から分析し、前期実習についての省察し自己課題を明確にする。前期の課題解決策の意見を見出し、後期実習の目標を明確化し、計画案を準備する。実習計画に照らして教材研究を行い、指導計画を作成する。自己課題の視点を確認して実習に臨み、後期実習終了後に実習全体を通じた総合的な省察をおこなう。なお、オンデマンド授業となった場合の質問等の受付については、授業内に指示する。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	幼稚園における教育実習の実施に直結する内容を、演習形式で展開する。教員2人によるチームティーチングで実施する。各回の内容に応じた課題・提出物を課す。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	教育実習の意義と目的 実習に必要な書類・事務手続き	・「社会人となる」→「体験から学ぶ」「子ども理解」「援助」の観点 ・実習課題「実習にあたって」、個人票、実習日誌、等の事務手続き	<input type="checkbox"/>
第2回	教育実習とは一全体の過程と養成課程での位置づけ 実習の心構えを身につけ、実習園を研究する。	・観察・参加・部分実習の3段階の流れを理解する ・実習不安は「子どもと一緒に遊ぶ」保育実習を目指す	<input type="checkbox"/>
第3回	子どもを理解する ・実習記録の意義と書き方	・幼児の発達の特徴を、健康や言葉、人間関係などの面から理解・記録する ・幼児の観察が、指導案作成、クラス経営・教師の援助・配慮の方法等を学ぶための基本であり、子ども理解であることを知る	<input type="checkbox"/>
第4回	幼稚園を理解する ・オリエンテーションの内容　・教育方針、教育内容の理解	・幼稚園教育方針、施設、時間、教育課程などの点からその概要を研究 ・電話のかけ方・オリエンテーション内容と注意・配当年齢と部分実習	<input type="checkbox"/>
第5回	幼稚園の特徴と仕事内容	幼稚園の先生の基本の姿を知る	<input type="checkbox"/>
第6回	教材の研究の確認（多様な園課題） ・年齢や発達に合わせた教材利用の保育実技 ・園独自による課題曲、季節の歌	・子どもの生活や心を豊かにする子ども主体の保育実技 ・教材選択・園長、主任、クラス担任との相談	<input type="checkbox"/>
第7回	保育実技を部分実習へ ・指導計画の意義	・自由遊びとクラス主活動 ・歌あそび、手遊びと絵本、シアターなど視覚教材の紹介	<input type="checkbox"/>
第8回	指導計画の意義を知り一日実習指導案の作成 ・4歳児（3、5歳児の立案想定）	指導計画を書く意義とその内容、立案構成を理解する	<input type="checkbox"/>
第9回	指導計画の作成（1）①一部分	部分実習の指導案を実際に作成する	<input type="checkbox"/>
第10回	指導計画の作成（1）②一部分指導案の検討	作成した指導案をグループワークで相互に検討し合う	<input type="checkbox"/>
第11回	指導計画の作成（2）①一日指導案の作成	一日実習の指導案を実際に作成する	<input type="checkbox"/>

